

職務経歴書

GUTIERREZ Phoenix
(グティエレス フェニックス)

2026 年 8 月 4 日

1 応募職種

ソフトウェアエンジニア / クラウドインフラエンジニア（技術職）

2 職務経歴要約

フロリダ大学情報工学科在学中（2026 年 12 月卒業見込み）。Go 言語を用いたバックエンド開発および Kubernetes 環境でのクラウドインフラ運用を専門とする。学生主導ハッカソンのテクニカルディレクターとして大規模イベントのシステム設計を経験し、現在は Vobile Group Limited にてプロダクション規模のクラウドインフラ運用に従事。名古屋大学への交換留学を経て日本語での実務コミュニケーションが可能。2027 年 4 月からの就業を希望。

3 職務経歴詳細

Vobile Group Limited（2026 年 5 月～現在）

事業内容：デジタルコンテンツ保護・取引向け SaaS の提供

期間	プロジェクト内容	環境／規模	役割
2026 年 5 月～ 現在	Conductor ワークフローオーケストレーションの GitOps プラットフォームを構築。Web UI 管理をバージョン管理・CI/CD デプロイに置き換え、Python と GitHub Actions で自動バックアップを実装。	Python, GitHub Actions, FluxCD, Helm, GitOps	ソフトウェアエンジニア インターン
同上	VPN プロキシの IP ローテーションツールにおける陳腐化した IP 割り当てを修正し、160 の本番 Kubernetes ポッド間で 1 日 1 万件超の送信元 IP ローテーションを実現。	AWS(EKS/ECS/VPC), Kubernetes, WireGuard, OpenVPN, Docker, FluxCD	同上
同上	AWS EC2 上にカスタムの GitHub Actions ランナーを構築し、Helm / FluxCD のデプロイを検証。開発チームがマージ済み PR の本番ロールアウトを確認できる体制を整備。	AWS(EC2), Helm, GitHub Actions	同上
同上	本番インフラにおけるシークレット管理を強化。最小権限の IAM ロールで EKS Pod Identity を実装し、既存の FluxCD および Helm デプロイと並行して Crossplane のコンポジションで自動化。	AWS(IAM/EKS), Kubernetes, Pod Identity	同上
同上	ADR(Architecture Decision Record)を導入し、インフラ設計の意思決定やトレードオフ分析を文書化。チーム内の知識共有とオンボーディング効率化に貢献。	Markdown, Git, チーム内文書化	同上

SwampHacks (2025 年 4 月～2026 年 2 月)

事業内容：フロリダ大学公認の学生主催ハッカソン (年 1 回 36 時間開催、参加者 400 名以上)

期間	プロジェクト内容	環境／規模	役割
2025 年 4 月～ 2026 年 2 月	Go 言語を用いたイベント管理・応募プラットフォームの設計・開発。400 名以上の参加者に対応し、5 名のエンジニアチームを指揮して 9 ヶ月間の開発サイクルを主導。データベースマイグレーションと自動バックアップにより 99% の可用性を維持。	Docker Compose, PostgreSQL, Go 言語, Cloudflare / 5 名のエンジニアチーム (30 名の部門横断委員会)	リード・テクニカルディレクター
同上	Asynq + AWS S3/SES による通知エンジン構築。1,000 名以上の応募者への自動通知および QR コード発行機能を実装。	Asynq, AWS(S3/SES), GitHub Actions	同上
同上	DNS 管理、Caddy リバースプロキシ、Cloudflare TLS 自動化を 30 以上のサブドメインで構成。	Cloudflare, Caddy, DNS	同上
同上	5 つのマイクロサービス (API, ワーカー, Web アプリ, Discord bot) に GitHub Actions で CI/CD パイプラインを構築。ステージング/本番デプロイを自動化。	GitHub Actions, Docker Compose, 5 マイクロサービス	同上
同上	Go ベースの合否判定エンジンを設計。重み付けスコアリングをハッカソンチームと個人応募者に適用。	Go 言語	同上

Open Source Club (2023 年 9 月～2025 年 6 月)

資本金：非公開 従業員数：40 名以上 (学生コミュニティ) 設立：2010 年代

事業内容：フロリダ大学公認の学生主催オープンソースコミュニティ

期間	プロジェクト内容	環境／規模	役割
2023 年 9 月～ 2025 年 6 月	React Native 製チャットアプリ「Echo Chat」の開発を主導 (46 Stars、109 Forks)。40 名以上のコントリビューターをオンボーディングガイド、コードレビュー、ペアプロでメンタリング。	React Native, TypeScript, Node.js, Express.js / 40 名以上のコントリビューター	リードソフトウェアデベロッパー

4 得意分野・活かせる経験

- 日本語での実務コミュニケーション (上級)
- Go 言語によるバックエンドシステム設計・実装
- Kubernetes 環境での運用管理 (FluxCD/GitOps, Helm)
- AWS クラウドインフラ設計・構築 (EKS, IAM, EC2)
- CI/CD パイプライン自動化 (GitHub Actions)

5 自己PR

＜Go 言語によるスケーラブルなシステム設計と DevOps の実践＞

Go 言語を用いた高性能なシステムの構築を専門とし、最新のクラウドインフラツールでスケーラブルな展開を実現しています。SwampHacks のリードテクニカルディレクターとして、400 人以上が利用するイベント管理・応募プラットフォームを開発し、CI/CD と Docker ベースのデプロイの基盤を確立しました。さらに、「Ripple」というリアルタイムメッセージング基盤を通じて、同時実行する WebSocket 接続に Go のチャンネルを使い、水平スケールのために Redis を活用するなど、システム設計力を磨きました。現在は Vobile にて、プロダクション規模の Kubernetes に取り組み、FluxCD (GitOps)、Helm、独自の CI/CD ランナーを用いてデプロイを管理しています。運用の信頼性と保守性を重視し、システムが単に動作するだけでなく、費用対効果にも優れていることを常に目指しています。

＜異文化環境での主体的なリーダーシップとコミュニティ形成力＞

私は多様なグループを巻き込むリーダーシップと、ネイティブの日本語環境で成果を出す柔軟性を備えています。現在は 20 名の日本文学サークルを率い、毎週 JLPT N2 の文法と語彙を指導し、協働的な学習環境を構築しています。名古屋大学への交換留学中は、留学生のいない複数のサークルに完全に溶け込み、部誌への寄稿やイベントでの物販管理などの役割を担いました。また現在は同じ適応力を Vobile での職務にも活かし、ヨーロッパ、中国、ロサンゼルス、ニューヨーク、オーストラリアのメンバーと日々連携し、複数のタイムゾーンと文化的なコミュニケーション様式を考慮しつつ、本番環境でのエンジニアリング業務に従事しています。日本のグローバルなチームにおいても、この主体的な姿勢とバイリンガルのファシリテーション力を発揮したいと考えています。

以上